

秦野駅北口周辺地区多世代交流施設の整備

秦野駅北口周辺のにぎわい創造を進めるため、拡幅整備が進む県道705号沿道に、誰もが気軽に訪れ、遊ぶ、学ぶ、働くなど、秦野での暮らしの様々な活動の拠点となる多世代交流施設を整備します。

また、国が運営する総合的雇用サービス機関である「ハローワーク（公共職業安定所）」について、多世代交流施設への入居の方針が示されました。この施設の整備により、多くの人がまちに訪れ、市民の活発な活動を促進し、地域の活力向上と地域経済の活性化を実現していきます。



1 多世代交流施設の整備構想（案）について

(1) コンセプト

はだでの様々な出会いや学びを育む交流拠点

(2) 導入機能イメージ

本施設は、「こども・子育て」、「学び・知育」、「創造的活動」、「市民活動／起業・就労」「魅力情報発信」の5つの機能を軸に、それぞれに関係性や連携を持たせ、多世代の交流を促進します。

(3) 施設整備の考え方

ア はだのこども館の機能を移転

昭和45年に建築されたはだのこども館について、市公共施設保全計画に定める試算終了年の令和4年を過ぎており、建物と設備の老朽化が著しいことや、現状より駅に近い場所への移転を求める意見が多いことから、その機能を移転して、利用者の利便性向上を図ります。

イ 図書のある空間を整備

幅広い年代からのニーズに応えるとともに、こども・若者の居場所づくりのほか、文化・生涯学習・市民活動へつながる学びの提供など、文化的な生活の充実に貢献します。

ウ ハローワークの入居

ハローワーク（本所）の入居により、国の機関と連携した就労支援の充実を図ります。

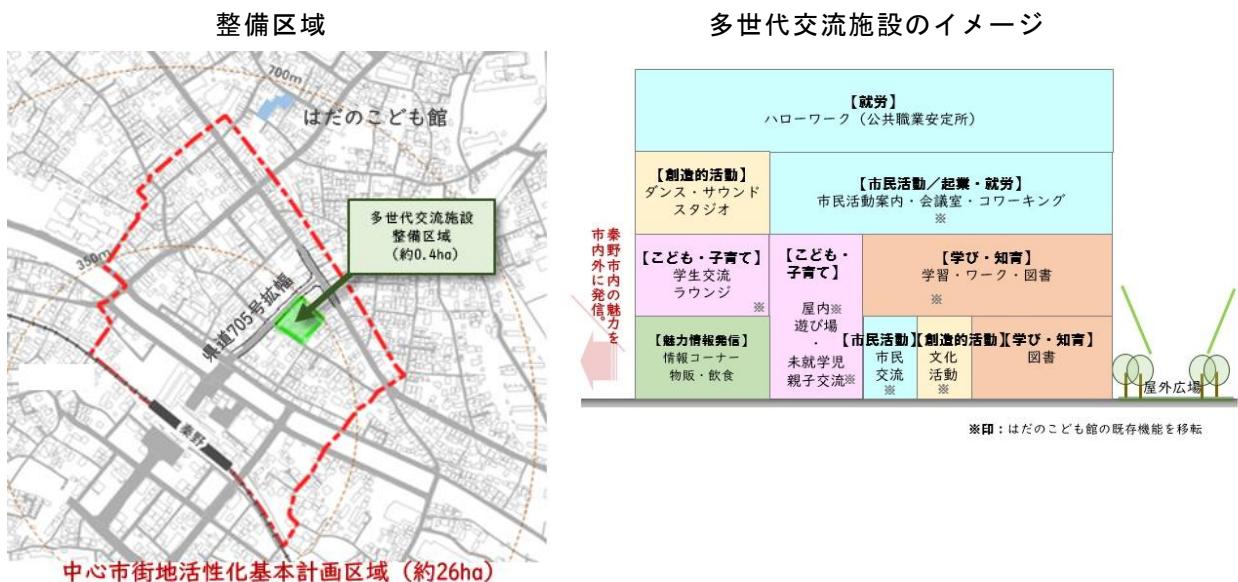
(4) ハローワーク入居の経緯

本市では、市民の「働きたい」の実現と、市内企業の人材確保の支援を図るために、昭和46年から市内への設置を要望してきました。現在、本市と南足柄市、足柄上



郡を管轄する、「ハローワーク松田」の庁舎が老朽かつ狭量なため、その移転候補地について打診がありました。まちのにぎわいを持続するため、本市が市民の活動拠点として整備する多世代交流施設への移転について提案し、協議を進めたところ、あらゆる世代が来訪しやすい施設として整備する多世代交流施設への入居の方針が示されました。

(5) 整備区域と施設のイメージ



2 構想（案）への意見の募集

(1) 期間

10月17日（金）～11月16日（日）

(2) 閲覧方法

市ホームページ、各公民館、図書館、各駅連絡所、行政情報閲覧コーナーおよび秦野駅北口にぎわい創造担当窓口で閲覧できます。

(3) 意見書の提出方法

任意の用紙に住所、氏名、意見を記入し、秦野駅北口にぎわい創造担当へ郵送、FAX、電子申請、電子メール、または持参してください。

問い合わせ

秦野駅北口にぎわい創造担当 電話 0463（82）9615